

漢江水上タクシー、乗ってみませんか？

ソウル駐在員事務所

秘書 洪承元

最近の円高ウォン安の影響で、ソウル中心部の百貨店、免税店、若者に人気の明洞（ミョンドン）は日本人観光客でにぎわっています。一部では、人気ブランド商品が入荷待ちの状況となるなど日本人観光客が百貨店、免税店の売上に大きく貢献しています。ソウル市内は地下鉄・バスといった交通機関が非常に発達しており楽に移動できますが、両手いっぱいの買い物をした日本人観光客がタクシーに乗り込む光景をよく目にします。

ところで皆さん、ソウルの『漢江（ハンガン）水上コール（call）タクシー』の存在をご存知でしょうか？ソウルには「漢江」という大きな川が流れており、この川を中心にソウルが北部（江北）と南部（江南）に分かれています。

漢江の遊覧船に以前乗ったことがあります。先日友人に誘われてこの水上タクシーにも乗ってみました。水上タクシーの中は思ったよりも広く、座席が丸く設置されており、家族・友達を囲んで話をするのに最適でした。料金は区間毎の定額料金制で、蚕院（チャモン）～蚕室（チャムシル）まで5人で22,300ウォン（約1,561円）でした。1～7名（定員は大人7名）まで乗船しても料金は同じであり、人数が多ければ割安です。

この水上タクシーは2007年10月から運航を開始しており、予約制で漢江の計11ヶ所の乗降場を行き来しているそうです。運転手さんの話によると、道路渋滞が深刻な通勤ラッシュ時には10～15分毎に運航しており、蚕室～トクソム経由～汝矣（ヨイ）ナルまで15～20分で行けるそうです。バスや地下鉄の半分の時間で済みます。大人片道5,000ウォン（約350円）ですが、通勤用の割引のある月額会員制も導入しており、通勤利用者の増加を目指しているそうです。また、通勤利用者には船着場から無料で自転車のレンタルも行っており、運動不足のサラリーマンの健康維持にも役立つのではないのでしょうか？

私が乗った時はまだ冷たい風が吹く時期でしたが、これから春先には漢江沿いのお花見、夏には涼しい風に吹かれながら夜景を楽しんだり、また一味違うソウルを体験できそうですよ。皆さんもソウルへお越しの際は、ぜひ一度試してみたいはいかがでしょうか？

（2009年2月時点 1ウォン=約0.07円）



（写真：ソウル市）